

2017年11月19日 主日礼拝（収穫感謝祭）

プレイズ

奏 楽

賛 美 聖歌322番「まげや種を！」

(シャウト喜び)(主がここにおられます)

ヤベツの祈り

聖 書 ①ルカによる福音書 16章19～31節(p117)

②ヤコブへの手紙 1章1～5節(p360)

音 楽 Cloud By Day

メッセージ ①「金持ちとラザロ再考」 小山英児先生

②「ことごとく喜びなさい」 大川従道牧師

賛 美 「わが主はまことの牧者」(502番・献金)

頌 栄 「主の祈り」アーメン

祝 禱

「だから、兄弟たちよ、主の来臨まで耐え忍びなさい。
見よ、農夫は、地の尊い実りを、前の雨と後の雨とが
あるまで、耐え忍んで待っている。」
(ヤコブ五の七)

【町田ニュース】

- ・ 今日**は「収穫感謝礼拝」**です。共に「収穫の主」を賛美しましょう。
- ・ 本日は、栄シャローム教会の小山英児先生をお迎えできて感謝です。
- ・ 午後、**クリスマスのチラシとトラクト配布**をします。楽しみましょう。来週の午後もあります。協力して配りましょう。「蒔けや～種～を♪」
- ・ 火曜日、**早天祈祷会**で大塚師が説教(Y)。お祈りください。
- ・ 今週も祈祷会を大切に(Y)。水曜夜7時半は佐々木伝道師、木曜10時半は小林伝道師、金曜夜9時は梅津伝道師。
- ・ 金曜、**子どもクリスマスのチラシ配布**。協力者は12時30分に教会に集合。
- ・ 土曜、**祈り会**は午後4時半。祈りは力です。
- ・ 新しいカレンダーができました。注文は節子姉まで。本日限り。
- ・ 12月2日(土)14時**「子どもクリスマス会」**。お手伝いできる方募集中。
- ・ 毎日、通読表(聖務表)に従い、Q.T.をしましょう。



畑の中の宝物

今日は「収穫感謝祭」。作物のお話をさせていただきます。

9月になって、牧師館のお庭に大根とカブ、それにブロッコリーの種、さつまいもの苗を植えました。夏も終わり、これから寒くなるのに植えて成長するのかと心配しましたが、カブも大根も葉がどんどん伸びて、かわいい丸い白カブと、大根が育ちました。どちらも白い実の部分が半分地表からでているので、「こんにちは」と実にかわいらしいのです。カブも大根も毎日のように夕ご飯のために抜かれ、お料理されています。大根は30本なったのですが、カブが少なかったらしく、料理長から「もっとカブを植えて」とリクエストまで頂く程、好評でした。

大根や株の種は、実に小さな2～3mmの赤や紫の仁丹のような種です。それをただ土の中に入れて水をかけるだけで、これでもかという程のギザギザの大きな葉が幾重にも重なってできて、やがて大きな大根や株ができる。まるで手品です。種もしかけもある手品です。設計者である神様がDNAという設計図に書き込んだ通りの順番で、あの小さな種に水をかけると、双葉、そして本葉の順に生えてきて、設計通りの形の葉を設計図通りの角度でしげらせ、設計した通りの色形の実をならせるのです。神様のみわざはすごいですね！

もう一つ驚きは、昨年秋に植えた一株のイチゴです。春に少しイチゴの実がなってもう終わりだと思っておりましたが、秋になると辺り一面がイチゴの葉で覆われているではありませんか。親株から放射状にライナーというつるを伸ばして葉を出す。葉が地面につくとまた根付いてそこが親株になり、放射状にライナーを出す。地面につかなくてもさらにライナーを伸ばし、また葉を出す。それを何度も繰り返し、一年の間にいつの間にか増え広がっていました。結局、一年で1つの苗から80個の苗ができてしまいました。凄まじい繁殖力です。

1948年に山形で宣教を開始した保守バプテストの宣教師・ジョセフ・G・ミーコ宣教師ご夫妻は「いちご伝道」ということで、一つの教会を開拓すると同時に、また次の開拓を準備していき、多くの教会を少ない期間に開拓しました。

素敵なチラシとトラクトができました。さあ、「いちご伝道」いたしましょう。

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコースヤコブ1章～I ペテロ2章 Bコース:エゼキエル書20章～35章